

アスク本社

○本社所在地：山形県山形市蔵王松ヶ丘2丁目1-36

○事業概要：酒米事業・米穀事業・主食米販売事業・食品販売事業・酒類販売事業・海外事業・アグリパーク事業

○常時使用する従業員：60名
（2025年5月時点）

○現在の売上高：85億円
（2025年5月期）

○法人番号：6390001000095

○Web：

<https://www.okomemo-tawaragura-ask.jp>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
河合克行

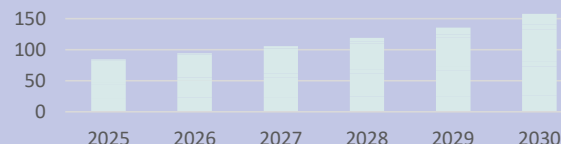
生産→加工→販売を国際基準で一気通貫し、日本米を世界へ

株式会社アスクは、日本の稲作文化を持続可能なものとして次世代につなぐため、機能性の高い米屋として自らコメ生産に携わり、生産現場の多くの課題と向き合いながら事業を展開しています。食卓に安全で高品質な日本米を提供するため、今日的気候に適合する高温耐性品種の栽培促進や品種改良の研究に加え、輸出拡大も視野にスマート農業の導入や国際基準（GGAPなど）に準拠した米作りの実践・強化に取り組んでまいります。あわせて、日本ブランド米の価値向上や米粉等コメを起点とする新たな商品の市場創造を通じて日本の食文化を世界に拡げてまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2027年の売上高達成に向け、年率14%程度の成長を目指す。



課題

2027年100億円へ、次世代精米の高付加価値化、米粉商品の量産/外部OEM、ラボ/農地拡大で原価低減と品質保証を両立。国内2,500軒の飲食店×量販/インド/他輸出で販路複線化。課題は農地拡大・商品開発力・人材・調達・販路拡大。開発力、国際基準の管理体制、海外子会社との連携を軸に解決。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・輸出対応型精米工場：窒素充填包装・低温精米・成分データ活用・FSSC対応で高品質米を輸出。
- ・酒糠商品開発事業：酒米精米時の副産物を活用し、グルテンフリー市場向け米粉商品を開発することで新収益源を創出。（飲食店、スーパー、EC、輸出の多販路展開）
- ・アスクラボ（アグリパーク・輸出促進）：自社農地拡大・スマート農業・輸出検査内製化・外部検査受託でコスト削減と収益化。

実施体制

- ・各事業毎に社長直下の事業担当者を配置し推進
- ・自社アウトバウンド型コールセンターの活用
- ・輸出促進事業においては、Jetro及び輸出商社、インドの飲食店、商社の取引先と連携

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです